

「チェルノブイリ原発事故から 31 年のウクライナを訪ねて」

2018年1月27日(土) 10時30分～
Mウィング 3-B

チェルノブイリ原発 4号炉の石棺を覆うシェルターが完成、その実態は



2010年ドーム建設中のチェルノブイリ原発を訪れた時の原富男さん

2016年、石棺を覆うシェルターが完成したチェルノブイリ原発

原発労働者の町プリピャチから避難した人々は今どうしているのでしょうか。
新しいシェルターに覆われたチェルノブイリ原発はどうなっているのでしょうか。
「100年間の安全を保証した」と言われるシェルターとは？

2017年10月にウクライナを訪問した原富男さんから、お話を聞きます。

日時： 1月27日(土) 午前10:30～

場所： Mウィング 3-B

報告者： 原富男 (チェルノブイリ救援中部)

資料代： 500円



チェルノブイリ原発 10km圏内のコパチ村幼稚園、避難当時のままの園内

原富男さんプロフィール (抜粋)

- 1989年 反原発運動「伊那谷いのちがだいじ！連絡会」結成に参加
- 1990年 「チェルノブイリ救援・中部」結成に参加
- 1997年 ウクライナ汚染地域ナロジチ病院、給水・給湯工事に従事
- 2008年 ナロジチ菜の花プロジェクト
「バイオエネルギーセンター」建設工事に従事
- 2009年 ナロジチ、ラスキ村にてバイオガス装置建造従事
- 2013年 福島の子どもの保養・伊那谷親子リフレッシュプロジェクト発足に参加
- 2014年 福島県郡山市「にんじん舎」にてバイオガス装置・吸着装置建造

チェルノブイリ救援・中部、理事長